

教育目標 「自ら きたえる」

意欲をもって学び続ける力・自分を豊かに表現する力・良好な人間関係を築く力



新潟市立関屋小学校 学校だより

しおない

令和七年九月三十日

第372号

9/26(金) 秋晴れの下、全校縦割り班遠足

「暑熱順化」に想う

校長 川又 健司

いつまで続くかと心配した暑さも、ここへ来てようやく少し収まってきた感があります。

危険な暑さが続く近年、ニュース

や報道で聞くようになった言葉（単に私が知らなかっただけかもしれないが）に「暑熱順化」があります。

本格的に暑くなる前から徐々に体を暑さに慣れさせることで、（発汗作用など）暑さに強い体をつくることが大切、ということです。すぐエアコンに頼ったり、家に閉じこもったりではなく、その前に少しずつ抵抗力、免疫力を高めましょう、ということでしょうか。

人間には個人差がありますし、何事もケース・バイ・ケースでしょうが、無理のない程度に少しずつ抵抗力をつける、という発想には納得です。過度に危険を避けるだけでは、却って耐性が身に付かない。それはむしろ、長い目で見ると危険なことも、ということなのです。

さて、こういう言葉を耳にすると、何でもすぐ教育にこじつける教員（私だけか？）からすると、「うん、これは様々なことに通じることでは」という気がしてきます。

例えば、子供たちは日々の生活の中で、いろいろな経験をしています。

その中には、失敗やトラブルなど、好ましくない経験もあるでしょう。大人だってそうですから、子供ならなおさらです。

しかし、「暑熱順化」の考えになぞらえれば、それも大切な経験と言えるのかもしれない。小さな失敗やトラブルを乗り越える経験をするのが、後でより大きな失敗やトラブルに対処する力につながる、ということなのです。

失敗やトラブルは無いに越したことはありませんが、長い人生、いつでもどこで大きな失敗やトラブルに遭遇するかは分かりません。そのときに、まったく対処の仕方や気持ちの切り替え方が分からなければ、それだけダメージも大きくなって自分に返ってくると思います。

子供時代は大人になるための練習ではありませんが、あえて嫌なことを経験させる必要もないでしょう。しかし、困った場面で「これも将来への大切な経験」と考えられれば、少しは気持ちに余裕が生まれてくるのではないかと思います。

小さな失敗やトラブルに出遭ったとき、どうやって子供に乗り越えさせるか、大人も子供と一緒に考えていきたいものです。

～ 1 年校外学習「いくとぴあ」 9 月 5 日（金）～



1 ねん W・K

ぼくは、いくとぴあへえんそくにいきました。いちばんたのしかったのは、どうぶつのえさやりです。ひつじは、あついひがにがてなようでした。やぎもいました。やぎは、くいしんぼうみたいでした。どのどうぶつもかわいかったです。またいきたいです。

～ 3 年社会科見学「かまぼこ工場」 9 月 1 8 日（木）～



3 年 H・I

かまぼこを作る工場で、かまぼこをどのように作るのか、見学しました。とても多くの機械があつて、スケソウダラのすり身が、かまぼこやちくわや揚げ物になっていく様子が、よく分かりました。かまぼこの歴史についての映像を見たり、工場の方に質問してたくさんのことを教えていただいたりして、よい学習ができました。

【10 月の予定】



1	水	ふれらん
2	木	5 年歯肉炎予防教室 6 年関屋中学校体験入学
3	金	2 年町探検
8	水	4 時間授業
9	木	3 時間授業、給食なし
10	金	前期終業式、3 時間授業 給食なし
14	火	後期始業日、5 時間授業
15	水	ふれらん

19	日	P T A クリーン作戦
22	水	ふれらん 6 年こころの劇場
23	木	就学時健診
27	月	スクールカウンセラー来校日
28	火	5 年社会科見学
29	水	ふれらん

